



2021年4月13日

各 位

会社名 株式会社 東 名  
 代表者名 代表取締役社長 山本 文彦  
 (コード番号: 4439 東証・名証第一部)  
 問合せ先 取締役管理本部長 関山 誠  
 (TEL 059-330-2151)

2021年8月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異  
 及び通期業績予想値の修正に関するお知らせ

2020年10月13日に公表いたしました2021年8月期第2四半期累計期間の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2021年8月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 2021年8月期第2四半期(累計)業績予想値と実績値との差異

## (1) 連結業績予想値と実績値との差異(2020年9月1日~2021年2月28日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,905	438	473	288	39.41
実績値 (B)	5,995	221	245	158	21.57
増減額 (B-A)	89	△216	△227	△130	
増減率 (%)	1.5	△49.4	△48.1	△45.2	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年8月期第2四半期)	5,664	423	492	329	45.82

(注) 2020年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2020年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、前期第2四半期実績の1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 個別業績予想値と実績値との差異(2020年9月1日~2021年2月28日)

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,713	456	285	39.03
実績値 (B)	5,777	224	149	20.32
増減額 (B-A)	63	△231	△136	
増減率 (%)	1.1	△50.7	△47.9	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年8月期第2四半期)	5,401	468	319	44.36

(注) 2020年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2020年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、前期第2四半期実績の1株当たり四半期純利益を算定しております。

## 2. 2021年8月期通期業績予想値の修正

### (1) 連結業績予想値の修正 (2020年9月1日～2021年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,020	909	979	608	83.00
今回修正予想 (B)	12,734	319	367	239	32.61
増減額 (B-A)	713	△589	△612	△368	
増減率 (%)	5.9	△64.8	△62.5	△60.7	
(ご参考) 前期実績 (2020年8月期)	11,517	835	923	611	84.85

(注) 2020年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2020年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、前期実績の1株当たり当期純利益を算定しております。

### (2) 個別業績予想値の修正 (2020年9月1日～2021年8月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,636	923	579	79.04
今回修正予想 (B)	12,242	296	192	26.28
増減額 (B-A)	605	△626	△386	
増減率 (%)	5.2	△67.9	△66.7	
(ご参考) 前期実績 (2020年8月期)	11,030	864	577	80.03

(注) 2020年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2020年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、前期実績の1株当たり当期純利益を算定しております。

## 3. 業績予想値と実績値との差異及び業績予想値修正の理由

2021年8月期第2四半期累計期間においては、オフィス光119事業及びオフィスソリューション事業のうちUTM等のセキュリティ商材の販売に注力した結果、売上高5,995百万円(計画比1.5%増)となりました。一方、オフィスソリューション事業である電力サービスでは、2020年12月中旬から2021年1月下旬にかけて日本卸電力取引所における電力取引価格が高騰したことから、電力取次販売では価格転嫁の可能性のある料金プランを有する代理店への取次を見合わせたこと及び電力小売販売では売上原価の増加が主要因となり、売上総利益は予想値より180百万円減少しました。さらに、オフィス光119事業では、新規顧客獲得のためアライアンス企業への紹介手数料等の費用が増加したこと等により販売費及び一般管理費が予想値より36百万円増加しました。この結果、営業利益221百万円(同49.4%減)、経常利益245百万円(同48.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益158百万円(同45.2%減)となりました。

2021年8月期通期につきましては、オフィスソリューション事業において電力サービスにかかるノウハウの蓄積、社内リソースの再分配、複数の電源調達先の確保等により電力小売販売における自社顧客急増にも耐えうる体制の整備ができたため、下半期より電力取次販売(代理店型ビジネス)から電力小売販売(ストック型ビジネス)へ転換することといたしました。このため、上半期における業績予想値と実績値との差異に加え、電力小売販売による売上原価の増加等により売上総利益が前回発表予想値より111百万円減少する見込みであります。また、電力小売販売における契約件数を早期に積み上げるため、人件費及びアライアンス企業への紹介手数料等の費用増加等により、販売費及び一般管理費は前回発表予想値より253百万円増加する見込みであります。この結果、通期連結業績予想値につきましては、売上高12,734百万円(前回発表予想値比5.9%増)、営業利益319百万円(同64.8%減)、経常利益367百万円(同

62.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益239百万円(同60.7%減)へと修正を行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う当社グループの業績への影響は軽微であります。

また、個別業績予想と実績値との差異及び個別業績予想の修正理由につきましては、連結業績と同様であります。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上